

洋野 うれしお

洋野町立種市中学校
令和3年度校報
第25号
編集 副校長 八幡

学校教育目標 「学びを広げ 自ら問い 高めあう」

本年度を締めくくる3学期に!! それぞれの目標に向かって日々努力を

3学期が始まりました。授業日数にして40日間の短い学期です。始業式に校長先生からもお話がありましたが、この3学期では1年のまとめとして、日々悔いのないよう生活してほしいと思います。

～校長先生の式辞から～（引用）

3年生の皆さん。「有終の美を飾る」ということわざがあります。「仕事や与えられた役割など、最後までしっかりとやりとげ、素晴らしい結果を出して終わる」という意味で使われます。つまりこれは、最後を立派に締めくくることであり、まさに3年生のこれまでの成長にふさわしい言葉だと思いました。卒業までの約2か月間、最後の花道を美しく飾ってほしいと思います。

1・2年生の皆さん。3年生は高校入試が始っています。義務教育最後のチャレンジです。今の3年生の姿をその目に焼き付けてください。近い未来の皆さんの姿です。1・2年生にとって、最重要な2か月間になります。

～生徒会長の菖蒲沢李乃さんの挨拶から～（引用）

3学期は長くありません。何を頑張っていくのか。どうしたらいいかなど少しでもいいので考えて生活してみてください。

1年生の皆さんは、4月から先輩となるという心構えをもって生活しましょう。2年生の皆さんは、最高学年になるための準備だと思って、後輩に見られても恥ずかしくないような態度で生活しましょう。3年生の皆さんは、受験に向けて日々の学習を頑張ってください。各学年意識して生活することは違いますが、3学期も全校で一つになって頑張りましょう。

全校生徒で令和3年度種市中の有終の美を飾り、次への成長の足掛かりにできる3学期になるよう生徒の活動を支えていきたいと考えています。是非ご家庭からもお子様への支援をよろしくお願いいたします。



3学期も集中した姿勢でスタートしました



3学期の抱負を述べる生徒会長の菖蒲沢李乃さん

箱根ランナーから学ぶ



洋野町陸上競技教室を開催

1月12日（水）、洋野町教育委員会の協力を得て、「陸上競技教室」が行われました。参加したのは特設陸上競技部に所属する生徒と冬休みに体力づくりを兼ねて陸上練習に参加していた男子バスケ部・男子卓球部の生徒などあわせて約40名です。

講師として来ていただいたのは本校の卒業生であり、あの「箱根駅伝」を大学時代に走った舘石盛行さん、堅谷真さん、玉澤拓海さんの3名。いずれも中学校時代に陸上競技と出会い、陸上競技を好きになり、努力を重ねてきた3名です。

走りの基礎技術やフォームづくりを中心に練習を進めてもらいました。生徒らは先生方のきれいなフォームやスピードの違いに感心しながら、ともに汗を流しました。

4月に開催予定の「盛岡一周継走大会」に向けて12月から取り組んでいる特設陸上部にとってはより良い練習となり、これからの成長に大きな意味を持つ陸上教室となったようです。



舘石コーチからは走る時の姿勢について指導



玉澤コーチの指導を受けスピードが上がる

生徒会リーダー研修会

～目指す 種中像を考える～

1月7日（金）に生徒会リーダー研修会が開催されました。午前中には「リーダーに期待すること」として校長先生からの講話がありました。

その後は新生徒会執行部担当の佐藤舞果先生からの講話です。「生徒会活動で大切にしてほしいこと」としてリーダーシップについて考える時間となりました。

「種中の現状把握と分析」としてこれから目指す種中像について意見交換が行われました。

さすが全校のリーダーたち。それぞれの熱い思いをそれぞれが語り、よりよい種中を創っていこうとする意気込みが感じられました。



理想の種中について意見交換するリーダーたち